

関東アコーディオン演奏交流会

実行委員会ニュース

ホームページ <https://kantoacco.omiki.com/>



第 36 回

準備会号

2024.3.29 発行

編集 広報部

第 36 回関東アコーディオン演奏交流会開催日決まる！

9/22 (日)

「重奏・バンド/アンサンブル・合奏」部門

※募集要項は、5 月発表予定。(6 月になる場合もあります)

※2～3 ページに関連記事



イラスト／後平

今年も元気で、もっともっと多くの方たちにアコの音色を届けましょう！

目次

- 第 36 回開催日決定／運営協力金のお礼…2P
- 前回のアンサンブルを思い出す…3P
- 実行委員の近況報告…4～5P
- ともしびアコーディオン合奏講座冬のコンサート…6～7P
- 横アコ愛好会、象の鼻テラスコンサート…8P
- MUZA ランチタイムコンサート…9P
- せきたさらいリサイタル…10～11P
- ホワイトボード…12～14P

第 36 回 関東アコーディオン演奏交流会は 9 月 22 日（日）開催に決定！

2024 9 September						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

第 36 回の今年は

- ・ 重奏
- ・ バンド/アンサンブル
- ・ 合奏

の年になります。

募集は 5 月を予定しておりますが、都合により 6 月になる場合もあります。



「運営協力金のお礼」

昨年の第 35 回演奏交流会ニュース第 1 号にて、「運営協力金のお礼」を掲載したところ、20 名の方と 5 つの団体からご賛同いただき、総額 105,300 円を賜りました。温かいお心遣い、誠にありがとうございました。

お礼を申し上げる時期が遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。

お陰様で、第 35 回はアコーディオンの素晴らしい音色が響く中、盛会のうちに終了することができました。そして、第 36 回開催に取りかかったところですが、「みんなで学び合う」という演奏交流会の主旨を大切にしながら進めて参る所存です。

今後とも、関東アコーディオン演奏交流会へのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。尚、下記にご協力いただいた方、団体のお名前を記載させていただきました。

個人（五十音順、敬称略）：石橋友子 上ノ原良幸 氏家道子 小神長次 関根貞夫
園山三左子 鳥塚みやこ 中西明 橋本千香子 廣瀬靖子 堀越正子 本荘雪子
満武直人 水野美緒 森陽介 山口伊知郎 吉田春夫 匿名 3 名

団体（五十音順、敬称略）：アンサンブル小川 ウインドバスカーズ 音楽センター中部
金曜教室 プチ・マルカート フレア



前回、第 34 回（2022 年）入賞者を思い出してみましょう！

《重奏の部》

☆入賞第 1 位



団体名：のりゆみ
演奏者：若松紀 渡部由美

☆入賞第 2 位



団体名：Funky 手風琴
演奏者：本田千香 小川正浩

☆入賞第 3 位



団体名：フレア
演奏者：大野弘子 加藤ゆかり

《バンド/アンサンブルの部》

☆入賞第 1 位



団体名：Duo NoKo
(デュオ ノーコ)
演奏者：竹前景子 山本典子

2 位、3 位は無

☆激励賞



団体名：金八さん
(きんぱつつあん)
演奏者：青木恵美 久保美穂

☆努力賞



団体名：スワロウダンス
演奏者：豊住舞 三宅燕

《合奏の部》 2 位は 2 団体



☆入賞第 1 位

団体名
東京アコーディオン研究会
演奏者：8 名
指揮：柴崎和圭



☆入賞第 2 位

団体名
川越アコーディオンサークル
たんぽぽ
演奏者：14 名
指揮：松永勇次



☆入賞第 2 位

団体名
ウインドバスカーズ
埼玉アコーディオングループ
演奏者：13 名
指揮：松永勇次

3月実行委員会議事録より(3月17日実施)

■各団体の状況 近況報告

参加者：浅川 石橋 宇野 岡田 織田 乙津 川上 佐藤 塚本 築山(五十音順)

川上・・・埼玉はウインドバスカーズ、川越、越谷、新座と春日部の5つサークルがある。

・ウインドバスカーズの定期演奏会がこれまでに12回ありました。通算すると40年ぐらいの歴史になる。今年はその中での13回目の定期演奏会になります。開催日は6月30日(日)です。

・川越サークルのコンサートは、5月19日(日)開催します。越谷と新座はそれぞれが活動しています。

・春日部サークルは歌声の伴奏などをやって活躍しています。

塚本・・・2月17日(土)に横浜の象の鼻テラスで30分ぐらい演奏してきました。(※8ページに関連記事)

・3月9日(土)は戸塚の老人施設で約1時間、5月10日(金)も老人施設で30分ぐらいの演奏依頼が来ています。

・今練習している会場が4月から一ヶ月間修理のため使えなくなるので困っていて、替りの場所を探しているところです。

乙津・・・音楽センター南部教室は、今まで使っていた会場が取り壊されるので使えなくなります。

・20日は祝日だけれども、水曜日なので最後の練習を行います。

20日は24日(日)のコンサート直前なので、午後6時から始まる通常の練習の前に午後1時から集って自主レッスンをします。

・4月からは、昨年コンサートを開いた「川崎ゆめホール」で練習することになります。

石橋・・・三多摩教室は11月24日(日)、ずっと先だけれども、そのコンサートに向けて合奏したり、9月の関東に向けて合奏の練習をしています。

・川口先生から合奏曲の時間制限は何分ですかと聞かれています。うちの取り組む曲は演奏時間が長いので、制限時間超過しそうだったらどこを削るか検討することになるので、早くわかれば助かるということです。今日演奏時間を確認したい。

・あと、いろんなコンサートも聴きに行こうと言うことで、南部教室のコンサートもみんなで行きたいねと話をしています。

織田・・・プチ・マルカートは、菊地さんが6月2日(日)に絵画の個展を開かれます。その個展の会場でコンサートもやりたいので3曲ぐらいと声を掛けていただきました。(※13ページに関連記事)

昨年「かるふーる」で演奏した後、集りがなかったので、6月に向けて以前取り組んだことのある曲の中から練習再開したいと思っています。

・あとは、関東アコに向けて、今編曲中なのでうまく練習に入れたら9月には出たいなと思っています。

佐藤・・・金曜教室を長らく休んでいましたが、4月から。職場が新宿に近くなるので、少し行けるようになってと思っています。

・JAAでは、5月会発行予定の機関紙でサマーフェスタ、合奏講座の募集を行う予定です。昨年は同じ時期に関東アコソロ部門出場者への参加費支援案内を掲載しました。

今年は重奏部門なのでどんな連携ができそうか検討中です。

宇野・・・ともしびは、2月5日(月)雪の中「冬のコンサート」を開催しました。(※6～7ページに関連記事)

・予定していたプログラムを短縮したので、明日(3月18日)高田馬場のともしびのお店で再演をします。

雪の中、来場してくださった方やチケットを買ったけれど来場できなかった方、お手伝いしてくださった方は無料、それ以外の方は有料で声かけをしました。特別講師土生英彦先生は4曲弾きます。

・今年は関東アコへ、合奏で検討しています。

・金曜教室は、音楽センターの修了演奏会に向けて合奏曲「白樺」を演奏したいという思いを森先生が受けて猛練習中です。将さんが戻って来る日をみんなで待っています。

岡田・・・東京アコ研です。3月31日(日)内部発表会を行います。毎年年度末に自分たちの独奏、もしくはうた伴、それから合奏を行います。ほんとうに家族ですとかOB、OG、ごく親しい友人という範囲で発表会を行っています。遠くは去年も沖縄から、また、群馬からいらっしゃいます。

・昨年沖縄から来たOBの企画で今年5月にアコ研7名ぐらいで沖縄へ旅行に行きます。

築山・・・三ACです。一ヶ月に1回の練習をしています。今年50周年になります。身内だけでちょっとコンサートをしようかと話になり、夏ですが長野に引っ越したメンバーの自宅でコンサートを計画中です。

みんな高齢になってきたが、独奏をやろうと意気込んでいて、昔やっていた音楽センターの教則本とかを出してきたりして曲を決めています。

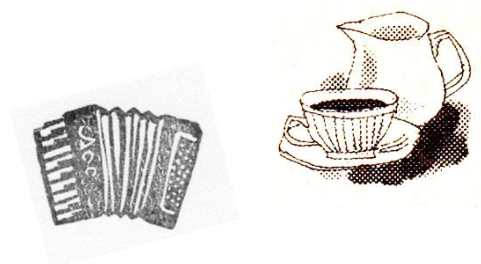
今月26日の練習で具体的に決めていこうと話合っています。

浅川・・・ウインドバスカーズです。今日はいつも練習している与野本町コミュニティセンターで「三館合同コミセン祭り」があり、10人で発表の部に参加してきました。

・6月30日の「13回定期演奏会」目指して準備していますが、川越が5月、私たちが6月で、松永先生が体力ギリギリのところまで頑張っています。

二つのサークルが同時期に開催するので厳しいところもあります。まだ間に合っていない合奏曲の楽譜もあり、それは4月からの取組みでと頑張っています。

・お時間がありましたら、聴きに來てください。



ともしびアコーディオン合奏講座 冬のコンサート

2024年2月5日(月) 18:00開演 なかのZERO 視聴覚ホール



当日は朝方から雪の降るあいにくの天候だったけれども、数年ぶりでもあったので楽しみに出かけてみました。数センチは積もった歩道を踏みしめてたどり着くと、雪の舞う寒空の中に一人で立ち

「ともしび」の幟を持ち迎えてくれているスタッフを見てホットしました。担当された方お疲れ様でした。悪天候でなければ満席の中で練習の成果を発表できたことでしょう。

定刻になり最初の曲は「アメイジンググレイス（編曲：大貫洋子）雪が舞っている外のこと」も忘れオルガンのような音色の出だしに引き込まれていきます。

そして司会からあいさつ・・・『皆様の期待を感じつつ、でも無事に帰宅してもらいたいということもあって、ちょっと縮小バージョンで概ね1時間のコンサートになります。』また、『きょうカットした分を何らかの形でお返しをしたいと考えているので手元の半券はなくさずにお持ちください。』と挨拶がありました。

1曲目の「アメイジンググレイス」は、『今年元旦の能登半島の地震。そしてまだまだ世界でも起こっている戦争。平和な世の中を、平和な日常をと思って1曲目に選ばせて頂きました。』と紹介。ベースパートは二人で受け持っていたとのことで、しっかり音が聴こえ曲を支えているのがわかり素敵でした。

2曲目は「薔薇のタンゴ」（編曲：中山英雄／改編ともしび）コンチネンタルタンゴです。

『1928年頃の作品で今からおよそ100年前の作品です。まず全員で演奏し、真ん中はメンバーを絞って演奏しそしてまた全員で演奏する、

そんな風に編曲してみました。』と紹介。

続いてはソロ演奏。演奏順に①「帰ってきたツバメ」『自宅の駐車場に毎年つばめがやってきては子育てをしていたのですが、カラスに襲われて去年は姿を見ませんでした。この春にはまた元気な姿を見せてくれるようにこの曲でお迎えしたいと思います。・・・』と紹介。つばめが戻ってきて駐車場でつばめに聴かせることができるといいですね。

②「淡き灯に」『タンゴの切れの良いリズムと強弱の変化が好きなので選びました。しかし、この曲はダンスの曲なので、とても難しかったです。』と紹介。かわいらしいところと、力強いフレーズの弾き分けが素敵でした。

③「愛の讃歌」『先輩方の演奏を聴きこの曲に憧れるようになりました。曲の真ん中にある熱い語りを経て最後は力強い愛を歌い上げられたらと思います。』と紹介。一人静かに祈るような温かさを感じさせる演奏でした。三人とも暗譜されていて練習のあとが感じられる素敵な演奏でした。

次は小編成。ピアノを入れて4人のメンバーに名前が付きまして、『ムエレス マドラス』おもしろい飲み物の名前みたいですけども、スペイン語で「熟女たち」と紹介されると客席から笑いが漏れていた。演奏曲は「ラ・クンパルシータ」これもタンゴの名曲です。規則正しく鳴るピアノのリズムになめらかなアコの音色であったり、次にアコの刻むリズムに細かく分散した旋律を重ねたピアノが続いたり、ときに柔らかく、ときに力強くメリハリの効いた素敵な演奏でした。

再び全員合奏。1曲目は「主よ、人の望みの喜びよ」もう1曲は「島唄」（2曲とも、編曲：清村杜夫）『平和の願いのことも是非伝えたいということでこの曲を選びました。』と紹介があって2曲続けて演奏。

この島唄の編曲者清村杜夫氏は、筆者がア

コーディオンに会い習い始めたとき、教室の講師でした。清村先生の三線で教室でもかつて演奏していたので懐かしく清村先生のお顔が浮かんできました。

■ともしび合奏講座特別講師 土生英彦氏
ゲスト演奏



♪デニシェール（作曲：L. ダニエル）パリの遊園地、くるくる回るコーヒーカップの中でゆられ、軽快な動きを楽しんでいる様子です。

♪小雨降る径（作曲：H. ヒンメル）筆者が生まれた頃作曲された曲だけれど、アコーディオンを練習している人はいつか弾いてみたくなる曲の一つだと思います。どこか魅力のある曲ですね。

♪ジプシー・ロマンス（作曲者不詳）ジプシー音楽の特徴とも言える、細かく刻む速いテンポの演奏で客席から「ブラボー」の声が出ていた。

終了時間を早めた関係で、「古いロシアのワルツ」は残念ですが割愛されました。

◇代表あいさつ・・・『この会場にいらっしゃ

る皆様に心からお礼を申し上げます。これからは私たちはお店で伴奏をしていきたいと思いますので、顔を見たらお声をかけてください。』

全員合奏

♪ひまわり（編曲：大貫洋子）映画「ひまわり」のテーマ曲として話題になったので映画をご覧になった方は多いと思います。戦後 80 年経たいまでも現実には起きているロシアとウクライナやイスラエルなどでの戦争にはほんとうに胸が痛みます。

♪仲間のうた（編曲：松永勇次／清村杜夫／中山英雄）優しさの中にも力強さを感じた素敵な演奏です。（アンコールの声）

こんな日にこの曲でいいのかという思いはありますがと、帰りの足も心配されることから1曲だけと言うことで「高原列車は行く」（編曲：大貫洋子）を、ともしびの仲間も加わり一緒に歌い終了しました。

第1部の小編成の一部と、第2部の「歌声コーナ」、ゲスト演奏の一部カットは残念ではありましたが、素敵な演奏にみなさん納得し温かい気持ちで家路につかれたことと思います。※写真：主催提供

◇3月18日（月）高田馬場の「ともしび」のお店で再演をされました。（記：乙津）



全員合奏の様子 指揮：清水正美

「2024WORLD MUSIC」

2024 年 2 月 17 日(土)11:00～ 会場：象の鼻テラス(横浜)

横浜アコーディオン愛好会（以降、横アコ）のメンバーから、仲間で演奏してきた様子が送られてきたので紹介します。

2 月 17 日(土)午前 11 時から 30 分、横アコのメンバー10 人で「象の鼻テラス」で演奏しました。

【プログラム】

- ①80 日間世界一周
- ②マイボニー
- ③横浜童謡メドレー
- ④サウンド・オブ・ミュージック
- ⑤バラのタンゴ
- ⑥ラ・メール
- ⑦故郷(アンコール曲)



演奏会場の様子

象の鼻テラスは子供達が家族と気軽に来れる場所なので明るい曲を選びました。

又、横浜なので「横浜童謡メドレー」を練習して演奏しました。

客席から見て右側が大棧橋埠頭となり、その日の朝に寄港した豪華客船ウエステルダムが窓から眺められ素晴らしい景観でした。流石、港横浜ですね！

象の鼻テラスで行われたイベント「2024WORLD MUSIC」では、とても開放的な気分で演奏する事が出来ました。

横アコの新しい歴史が刻まれたと感じました♪

おじいさんがお孫さんに、「かごめの水兵さん」の振りを教えてあげている様子がとても微笑ましかったです。

「2024WORLD MUSIC」レポート

佐藤優美子



象の鼻パークの景観



豪華客船ウエステルダムをバックに撮影

※象の鼻テラスは、誰でも自由に過ごせる象の鼻パーク内の無料休憩所。

交通は、みなとみらい線「日本大通り駅」出口1より徒歩3分

開館時間：10:00～18:00（年中無休）

横浜開港 150 周年事業として、2009 年 6 月 2 日に開館。併設した象の鼻カフェ、アトスペースを兼ね備えたレストハウスではイベントなどの文化プログラムを定期的に展開している。（※編集部加筆：Web より転記）

MUZAランチタイム コンサート

タンゴか否か！？ バンドネオン×ピアノDUO

2024年2月27日(火)12:10開演 ミューザ川崎シンフォニーホール



ランチタイムコンサート (12:00a.m. ~ 1:00p.m.) この日の出演は、早川純(バンドネオン奏者)と須藤信一郎(ピアニスト)のデュオです。二人とも、早川純氏は第27回関東アコのゲスト審査員、須藤信一郎氏は第34回(昨年度)関東アコのゲスト審査員でした。また、たまたま会場が筆者の地元川崎だったこともあって足を運んでみました。平日のランチタイムと言うことで筆者と同年配のお客さんが多かったように思います。

会場のシンフォニーホールは、ステージを取り囲むように360度席が作られていて真後ろの席(約100席)は使用中止でしたが、正面と左右の全席指定で行われ、2階、3階もあるので1000人程入っていたのではないだろうか。この時間帯なのにすごいなあ、生の演奏を楽しむ方がこんなにいるのかと、ちょっと驚きでした。

筆者がチケットを購入したのが遅かったので席は2階の左側ステージよりでしたので、ピアニストの背中を見下ろす形になったけれども、それはそれで新鮮でした。舞台との距離はあるけれど、左右はすり鉢状の作りなのでさほど見づらくはなかったです。

拍手の中登場。最初の演奏曲はA. ビジョルド:「エル・チョコクロ」、2曲目はG. マトス・ロドリゲス:「ラ・クンパリシータ」、3曲目はJ. プラサ:「ノクトウルナ」これは初めて聴く曲だったけれど、2拍子のミロンガのリズムの曲と解説していて、ハツカネズミがかごの中の輪を休むことなく回しているようなとても速いテンポのにぎやかな曲でした。

この後バンドネオンの紹介をするのですが、早川氏が「今日はアコーディオンとピアノのコンサートだとおもって来場された方いたら拍手をしていただけませんか」と客席に問いかけると少なくない拍手がありました。そこ

で早川氏は、ジャバラで空気を送って中にあるリード(金属の薄い板)を震わせて音を出す仕組みは同じだけれどもアコーディオンとは別な楽器であることを説明します。

形も違うし、押すボタンは同じでもジャバラを開いたときと閉じたときで別の音が出る、また、音階が鍵盤のように規則的に並んでいないので「ド」と「レ」がとても離れていること。等実際に音を出して解説するのですが、両脇にも客席があるので苦労していました。重さもアコーディオンの半分ほどで、胸に抱いて弾くのではなく膝の上に置いて演奏する形が一般的などと解説。

解説の後にはバンドネオンソロ、オリジナル曲で「失われし時のワルツ」夢の中へ誘い込まれるような静かな曲です。

続いてピアノソロ、オリジナル曲で「回想」夜空に見える満天の星がキラキラ輝いている情景が浮かんできました。

そしてデュオに戻るのだけれど、早川氏が曲の紹介をしている間、ピアニストの須藤氏は両腕をぶらぶらさせたり、おでこに手を当てて2階、3階席を見回したりと、気分転換にリラックスする様子が見られ、演奏前の緊張のほぐし方としておもしろいなあと感じました。

演奏は残り2曲。1つは、A. ピアソラ:「オブリビオン」バンドネオンの静かなビブラートから始まり静かに終わる聴きなじんだ曲ではあるけれども、何度聞いてもいいなあと思う曲です。最後の曲は、E. ルイス:「サン・メレ(混血)」ジャズの曲で初めて聴く曲だけれど操り人形が踊っているような情景を感じた。

プログラムは終わっても拍手が続き再登場。拍手に応え「リベルタンゴ」を演奏して終了となりました。

当然のことかもしれないけれど、ピアニストの須藤信一郎氏は全て暗譜でした。客席に飲み込まれそうなステージ上の二人がホールの音響の良さもあってなのかとても大きく見えた。ピアノは生の音だったので楽器から出るハリのある贅沢な演奏で昼の一時を過ごしました。

(記: 乙津)

せきたさらい アコーディオン ソロ コンサートⅩⅢ

Accordion・Accordéon・AKKordeon

2024年3月9日(土)17:30～ 早稲田奉仕園スコットホール

初めての会場なので、ホームページで「早稲田奉仕園」を検索してみました。「1921年(大正10年)完成のホールで、2022年1月に100周年を迎えました。」と書かれています。

「奉仕園」は大隈重信が宣教師ベニンホフに依頼して開設された学生寮「友愛学舎」が始まりで、例えば児童文学者の坪田譲治、ソニー創業者の井深大、等も寄宿していたと記されていて、スコットホールは「東京都選定歴史建造物」とあります。(写真はスコットホール外観)



会場は、東京メトロ東西線「早稲田」駅より徒歩5分程です。受け付けを済ませ中へ入ると、天井は高く外観からわかるように三角です。舞台左手には客席に張り出すようにパイプオルガンが設置されていました。

客席は平場に椅子を並べた形で、客席後方は一部2階席がつくられています。木の温もりのある落ち着いたホールです。

定員はホームページによると、200名、1階140名/2階60名)

せきたさらい氏の演奏を聴くのは初めてです。筆者が初めて聴く難解な曲が多くきくと実際とは違う感じを受けたと思っているのですが、感じたままを紹介してみます。

蝶の羽をイメージしたような大きな髪飾りを付け、薄い黒色のゆったりふわっとしたドレスで登場。(以降『』は演奏者の解説など)

■演奏者挨拶&プログラム紹介・・・『お客様もコロナ禍前にもどり昨年の2倍ぐらい入っていてすごく嬉しいです。前半はクラシック系の曲を、後半はヨーロッパとか日本の民俗音楽などです。』

『お渡ししたプログラムは小さいし(葉書大)、

演奏中は読めないと思うので1曲1曲説明します。前半は私が頑張って演奏するのをみなさんに見守ってもらうコーナー、後半は私が楽しく弾くのをみなさんも一緒に楽しんでもらうコーナー。そういう形です。』

プログラム1. Se tu m'ami「もしあなたが私を愛するなら(愛してくれるなら)」イタリアの曲と紹介。どこか郷愁のある、映画音楽の中で使われていそうな感じの曲です。

プログラム2. Suiten für Violoncello solo VI・Prelude.Corrente.Sarabande.Gavotte I & II『好きな曲だったので、チェロやピアノやギター、いろんな楽器でアレンジしているのを取り込みながらアコーディオンらしく編曲してみました。昨年は2曲でしたけれども、今回は、プレリュード、クーラント、サラバンド、ガボットを続けて弾きます。4曲終わったら4曲分の大きな拍手をいただけると嬉しいです。』

『私の中にアコーディオン用にアレンジするときのこだわりがあって、かしこまって弾く感じではなくて、ちょっと土着の感じがするものを選んでいつもりです。楽しい感じにしてみました。』と解説。

・プレリュード(右手と左手のつながりがとても難しそうです)・クーラント(乗馬して草原を走り回っている感じの曲でした)

・サラバンド(うっとりとした子守歌のように感じました)・ガボット(踊りの音楽だろうか、つま先でトントンと地面をつつくようなメロディーが印象に残ります)

プログラム3. The Goldberg Variations・Aria.26.29.30

『私の使っている楽器(ダラッペ)はスタンダードベースなので、ピアノの楽譜だと左手で出せないものが多くオクターブ変化は無視して弾くところも多いです。29番は左右を逆にしてみました。途中右手だけで弾いているところがあっても、そこは右手で頑張って弾いているんだと聴いてください。これも3曲弾いたあとに大きな拍手で私を慰めて欲しいです。』

・「Aria.26」オルガンのような響きです。季節が冬から春に移り変わるような、生き物が眠り

から覚めて・・・そんな暖かさを感じました。
・「Aria. 29」少しテンポが速くなり、土の中から出てきた生き物が元気いっぱい動き回っている感じだろうか。(ピアノ譜の右手と左手を逆にして演奏したのは29番だけと、後日教えて頂いた)

・3曲目の「Aria. 30」さかんに動き回って疲れたのか、少しゆるやかなテンポになり、わらべ歌を思わせる旋律に聞こえました。(バッハが民謡のフレーズを2つ掛け合わせて作ったものの、と後日教えて頂いた)

・・・・・・休憩・・・・・・

《後半》

プログラム1. Sonate pathétique No.8 Op.13-2
・前半ゆっくり、後半少しテンポを上げており、ダンスに用いられる感じの曲です。(ソナタ悲愴は、前半は普通に、その後5拍子にアレンジしたと後日教えて頂いた)

プログラム 2. 『最初の曲はアイルランドの曲です。古い楽器ですがこの楽器(アンティークのセリーニ)を使ってみようと思っていた。』と楽器を換えて演奏。(3曲ともアイルランドのハープ奏者「オキャロラン」の曲で、どれもアイリッシュ音楽好きの中では有名な曲。と後日教えて頂いた)

・1曲目は Eleanor Plunkett、日本の曲のようなどこか懐かしさを感じるメロディーです。後半になるとアイリッシュダンスの旋律だとわかります。(大好きな曲で酔っ払ってハモニカ横丁で弾いていることも多いそうです)

・2曲目 O'Carolan's Welcome は、演奏者が初めてアイリッシュのカバーで知った曲(はじめてオキャロランの曲で覚えた曲)と紹介。

・三曲目 O'Carolan's Concerto は、『コンチェルトという名前ですけど、オキャロランの曲は字余りのようなメロディーが良さでもある』と解説。

プログラム3. 「Minamiurawa slide set」
『ギネスが大好きでギネスを飲みに行っているだけでなんとなくアイルランドの曲を覚えた』
『アイリッシュの音楽ってタイトルがわからないものも多いので、私が入っているアイリッシュダンスのバンド「南浦和ケーリーバンド」で良く演奏しているので「南浦和」とタイトルを付けました。私の好きな「スライド」という8分の12拍子の曲、この後おいしいギネスが飲めるように弾きます。』と解説。5曲続けて演奏。

・軽快なテンポの曲できれいなメロディーがくり返される。気持ちが乗ってきたのか楽しんでいる様子が柔らかな身体の動きや表情から見て取れました。ギネスはアイルランド産のビールですよ。

プログラム4. Konomichi 『次は日本の曲コーナー、今日は「この道」を日本語の歌詞を考えながらアレンジしてみました。アイルランドの曲は日本の唱歌と近いものがあると思う。』と解説。

・スイッチをいろいろ変えての演奏に静かに聴き入りました。

プログラム5. Antagatadokosa 『今回はいつものアレンジとちょっと変えました。わらべ歌の「あんたがたどこさ」はアレンジのしがいのある好きな曲です。』と解説。まりが跳ねるように軽快でテンポの速い素敵な編曲です。

プログラム6. 『ブルガリアの音楽で、最初の Jove malaj mome は、かわいい女の子の名前で、二つ目の Buchmis は15拍子で、ザ、ブルガリアって感じの曲です。演奏して楽しいなと思った曲を今回取り上げました。』と解説。
・細かい粒の連続なのでアコーディオンで演奏するのはとても難しいのではないかと思い、感心して聴きました。

プログラム7. 『最後の曲になります。年1回こうやって聴きにきて応援してもらえるのが嬉しく感謝しております。Růčénica (ラチェニツァ) は7拍子、うつむいていないで顔を上げたくところが好きで、久しぶりに最後の曲に選びました。』と紹介。続けて9拍子の Dajčovo (ダイチョボ) 北欧やロシアの踊りを思い浮かべながら聴きました。ダンスと一緒に演奏を聴く機会があると素敵ですね。

アンコールに、スコットランドの曲を演奏され、大きな拍手で終了となりました。最後に、演奏者の衣装は、オルゴールの人形をイメージしたとおっしゃっていました。

会場の外は結構寒かったけれども、挨拶されるお客さんの集団ができていました。筆者になじみの少ない領域を楽しむことができた素敵なソロコンサートでした。

せきた先生には、後日原稿の校正をかねて更に詳しく教えて頂きました。

ありがとうございました。(記：乙津)

..... ホワイトボード（連絡はがきその他より）
.....

関心のある方は、ホームページなどを開いて確認していただければと思います。

.....
♪タニグチ・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪

<https://taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

タニグチ・サンデートークを動画で観ることができます。視聴可能な数が増えています。

.....
♪ともしび♪ <https://tomoshihi.co.jp/> コンサート 他

◇ともしび春の大うたごえ喫茶◇ ※詳細は、ともしびのホームページをご覧ください。

日 時 2024 年 4 月 6 日（土）開場 12：00

会 場 上野公園野外ステージ ◇東京メトロ銀座線「上野広小路」駅より徒歩 6 分、他
チケット申込み受付 2 月 6 日（火）15：00 から

申し込み ともしび事務センター TEL:03-6907-2731 （月～土 11：00～17：00 日曜・祝日お
休み）HP から申し込みます。 メール：info@tomoshihi.co.jp

.....
♪後藤ミホコ氏♪ <http://www.mihoko-goto.jp>

「後藤ミホコ アコーディオンチャンネル」vol. 98

◇2 月 8 日（木）ガルガンチュア ゲスト出演での様子 ♪インディフォレンス 他

◇後藤ミホコアコーディオン質問コーナー ジャバラの使い方のコツはありますか？

.....
♪ティモ・アラコティラ&藤野由佳♪「セイラス」アルバム発売記念コンサート

☆日 時 2024 年 4 月 13 日（土）開場 13：30 開演：14：00

会 場 ヤマハホール ◇地下鉄「銀座」A3 出口より徒歩約 5 分

出演者 ティモ・アラコティラ（ピアノ） 藤野由佳（アコーディオン）

料 金 6,000 円（全席指定）

予 約 イープラス <https://epulus.jp>

.....
♪やぎりんトリオ・リベルタ×大前恵子♪ おきたま
ふるさと置賜チャリティー・コンサート

日 時 2024 年 4 月 16 日（火）【昼の部】開演 14：00 【夜の部】開演 18：30

会 場 日暮里サニーホール コンサートサロン ◇JR「日暮里」駅南口より徒歩 2 分

出 演 藤枝貴子（アルパ＝パラグアイハープ） 清永アツヨシ（ギター） 八木倫明（ケーナ
とナイ/作詞訳詞） ☆大前恵子（ソプラノ）

演奏曲 最上川（山形県民の歌）昭和天皇作詞/島崎赤太郎作曲 ふるさとのナナカマド（スコッ
トランド民謡） コンドルは飛んで行く カッチーニのアヴェ・マリア アマポーラ
初恋（石川啄木 作詞/越谷達之助 作曲） 再生（藤枝貴子 作曲） 他

チャリティー券（全席自由） 一般 3,500 円 学生/車椅子 1,000 円 ※当日不参加でも 3,500
円を寄付の方にはコンサートの記録 CD を返礼と致します。☆参加の方には寄付一口
3,000 円で CD 差し上げます。振り込み通信欄に「寄付」と記入ください。

郵便振替口座 00180-2-612135 八木倫明

申込み 地球音楽工房（やぎりん）080-5379-4929 yagirin88@gmail.com

.....
♪かとうかなこ氏♪ <http://www.katokanako.com/index.html>

◇春あこ～でいおん

日 時 2024 年 4 月 27 日（土）開場 14：30 開演 15：00

会 場 神戸 100BAN ホール ◇JR・阪急・阪神「三宮」駅から徒歩 7 分

出 演 かとうかなこ（アコーディオン） 泰進一（ヴァイオリン） 岡崎泰正（ギター）
田島隆（タンバリン） chika et sae（アコーディオンデュオ）

料 金 全席自由 前売り一般 4,000 円 学生 2,500 円／ 当日一般 4,500 円 学生 3,000 円
チケット 上記ホームページから、整理番号順入場

..... ホワイトボード（連絡はがきその他より）

♪牧田ゆき氏♪ <http://www.planet-y.co.jp/makita/>

♪大塚雄一氏♪ <http://www.hi-ho.ne.jp/acc-ohtsuka>

♪田ノ岡三郎氏♪ <http://tanooka.net>

◇スギテツ presents 鉄道音楽祭 in SHIBUYA

日 時 2024年4月28日（日） 開場 13:00 開演 13:30

会 場 渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール ◇「渋谷」駅より徒歩5分

出 演 スギテツ：杉浦哲朗（ピアノ） 岡田鉄平（ヴァイオリン） 六角精児（歌） 田ノ岡三郎
（アコーディオン） 笹竜胆アンサンブル（岩倉高等学校吹奏楽部 08・09）

チケット 一般 4,500円（税込） 高校生以下 2,500円（税込）※小学生以上要チケット 全席指定
※他のライブは、ホームページをご覧ください。

♪第18回 五十嵐 美穂 アコーディオンリサイタル♪

日 時 2024年5月6日（月） 開場 16:30 開演 17:00

会 場 めぐろパーシモンホール 小ホール ◇東急東横線「都立大学」駅より徒歩7分

演奏曲 女学生 宵待草 東京ブギウギ ペルシャの市場にて 美しき青きドナウ 他

料 金 前売り券 2,500円 当日券 2,700円（小・中学生 1,000円）

申込先 五十嵐まで（Tel&Fax 045-912-4525） 定員 196人（完全予約制）

支払い 振込先 三菱UFJ銀行 青葉台支店 普通 0355983

♪たんぽぽ アコーディオンコンサート ～ そこに広がるこころのメロディー ～♪

主 催 川越アコーディオンサークル たんぽぽ

日 時 2024年5月19日（日） 開場 13:30 開演 14:00

会 場 川越西文化会館「メルト」◇東武東上線「霞ヶ関」駅より徒歩10分

入場料 1,000円（小学生 500円）

後 援 NPO法人日本アコーディオン協会、川越市文化団体連合会

演奏曲 キエフの大門、ニュー・シネマ・パラダイス組曲、キネマの天地、ケ・セラ・セラ、
フニクリ・フニクラ、アバメドレー、通りゃんせ 他

編曲・指揮・音楽監督：松永勇次

ピアノ 鶴原裕子

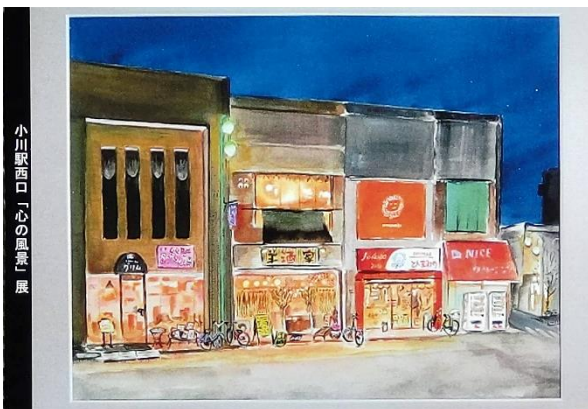
問合せ 岡田勢津子 ☎090-5513-6293 (wkcokada@jcom.home.ne.jp)

♪小川駅西口「心の風景」展♪

日 時 2024年5月30日（木）～6月2日（日） AM11:00～PM6:00

会 場 自由空間 NMCギャラリー&スタジオ

☆西武拝島・国分寺線「小川」駅西口より徒歩2分



□小川駅西口再開発により失われつつある風景
を地元に住む者として描き続けてきました。

（菊地 毅）

■アコーディオンコンサート（個展最終日）

日 時 2024年6月2日（日） PM2:00

アコーディオン ♪ソロやアンサンブル ♪シャ
ンソン歌唱を「絵」と共に楽しんで頂けたらと思
ってます。

◇連絡先 090-7227-5586（菊地）

..... ホワイトボード（連絡はがきその他より）

♪ “第38回 ふれあいこんさあと” VIVA・ACCORDION ♪

日 時 2024年6月9日（日） 13:00～16:00（予定） 開場 12:30
会 場 松原市文化会館 ■入場無料 近鉄南大阪線・各駅「高見の里」より徒歩7分
出 演 全国から集ったアコーディオン愛好する団体、個人
《出場申し込み締切り》4月7日（日）

参加/参加費/演奏時間

団体の合奏・重奏・アンサンブル

8分以内 大人 2,000円 ジュニア（小・中学生・障害者） 1,000円

※参加費は指揮者以外の総勢分（アコ以外のメンバーも）が必要です。

独 奏 3分以内 3,000円 6分以内 5,000円 ジュニア（小・中学生・障害者） 1,000円

※複数の団体で出演される方は、都度参加費が必要です。

※準備・出入りの時間も含めて時間内になるよう、ご協力お願い致します。

申し込み先 〒546-0023 大阪市東住吉区矢田 4-19-18 中川 徹 Tel・Fax 06-6697-9321

Eメール 中川 岳 vo138.vivaacco@gmail.com

プログラム広告について（当日のプログラムを制作し、広告協賛を募集致します）

用紙 B5（182mm×257mm）

A 全ページ 40000円 幅 160mm×高さ 234mm

B 2分の1 20000円 幅 160mm×高さ 112mm

C 4分の1 10000円 幅 160mm×高さ 156mm

D 8分の1 5000円 幅 80mm×高さ 156mm

広告締切り 4月20日（土）とさせていただきます。

広告送り先 中川 岳 Eメール vo138.vivaacco@gmail.com 又は Fax 06-6697-9321（中川）

連絡先 担当 西辻 携帯 090-2100-3258

主 催 全関西アコーディオン協会・ビバアコ実行委員会

実行委員長 吉田親家

事務局（問い合わせ・連絡先）中川（06-6697-9321） 猪腰（072-762-2694）

♪ JAPC 夏祭り ♪ 3月20日現在の情報

日 時 2024年6月29日（土）

会 場 北とびあ ペガサスホール

※詳細は、4月2日以降ホームページなどで発表予定

♪ Summer Live 2024 ～ Cantacco（かんたっこ）のおもちゃばこⅢ ～ ♪

日 時 2024年6月30日（日） 開場 11:30 開演 12:00

会 場 ル・カフェ・ドゥブルベ ◇JR「新宿」駅より徒歩2分

出 演 うた 真幸 操（まゆきみさお） アコーディオン（せきたさらい）

演奏曲 シェルブールの雨傘 リベルタンゴ アンダー・ザ・シー サマータイム

ユー・レイズ・ミー・アップ 他

料 金（要予約）4,500円（ワンプレート&1ドリンク付き）

問い合わせ・予約 sekitasara@gmail.com（せきた） bellerinrin55@gmail.com（まゆき）

■関東アコ4月実行委員会 2024年4月6日（土）19:00～Zoom 会議予定